




疾患別診療計画書

右前十字靭帯再建術を受ける方へ

経過	入院(手術前日)	手術日		1日目	2日目	3~6日目	7日目~
		術前	術後				
治療薬剤 (点滴・内服)	・痛みが強い時は、坐薬や痛み止めを使用します 看護師までお知らせ下さい ・以前より使用している薬を薬剤師または看護師にお知らせ下さい (目薬や貼り薬・塗り薬も教えてください) ・抗凝固薬や抗血小板薬を飲んでいた場合は、状況に応じて手術を中止する場合があります ・外来で麻酔科受診が済んでいない方は診察があります	術前から点滴を入れます。(午前中手術予定の方は手術室で入れます) 手術中に抗生剤の点滴を行います	帰室後、1回抗生剤の点滴をします 手術後、帰ってから5時間酸素をします 静脈血栓予防のため弾性ストッキングを使用します	抗生剤の点滴を2回行います 	適宜、傷の消毒を行いません		10日~14日で医師の許可があれば退院です 術後14日目を過ぎると必要時抜糸可能となります
検査				採血を行います	医師の指示で適宜採血をします		
処置		前開きのパジャマに着替えます					
食事 (栄養士による指導も含む)	21時以降食べることはできません	3時から禁飲食です	手術後5時間後より飲水できます	吐き気がなければ朝から食事が食べられます症状に合わせて食事を出します			
安静度	特に制限はありません 		手術後はベッド上安静になります 頭を30度だけ起こせます 術後より、足を固定する装具を付けます	ニーブレースを装着し車いす、または松葉杖での歩行が可能 手術をした足は体重をかけないように注意してください		硬性装具を装着し1/3荷重が可能になります 歩行時以外はニーブレースを装着してください 以降は、医師の指示のもと少しずつ体重をかけていきます	
清潔	入浴します	朝、洗面、歯磨きを行ってください。ただし水は飲まないようにしてください		蒸しタオルで体を拭きます		医師の許可があれば創部を防水して、シャワーに入ることができます	
排泄		(場合により病棟で)	排尿は管が入っているためベッドから下りる必要はありません 大便是ベッド上で排泄していただきます	排尿の管を抜きます 管が抜けてからはベッド上で便器又は尿器を使用します			
準備物品	バスタオル1枚、パジャマ2~3枚準備して下さい(病院でのレンタルもあります) 手術時に足にはく弾性ストッキングをご用意します 看護師がサイズを測ります						
患者様及びご家族への説明	◎手術について医師から説明があります(外来で済んでいる場合もあります) ◎看護師が入院生活について説明します ◎薬剤師が薬について説明します。(術前、後) ◎麻酔承諾書にサインし、看護師に渡してください ◎看護師より手術前のオリエンテーションを行います		手術が終わった時点で、医師よりご家族に手術についての説明があります 手術中は必ず院内でお待ちください	頭痛、吐き気のある場合はお申し出下さい		主治医との相談で退院日を決定します	

